

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 23 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 11 日 作成

事務事業名		野々島公民館維持管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連								
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名	高木 敏明					
	施策	20	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名	合志 新一					
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備		所属班	生涯学習班	(内線)	2421					
					法令根拠		合志市公民館条例						
予算科目	会計	1	款	10	項	5	目	3	事業連番	10841	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11
											コスト削減優先度評価結果	6*20	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和49 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)												
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)													
【事業の内容】 施設利用者が野々島公民館を快適に利用できるように維持管理を行う 【業務の流れ】 野々島公民館施設全般の消耗品補給や、施設の修繕・工事、施設利用の管理を行い、市民が利用しやすい環境を整える。 【主な予算費目】 報酬、需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費)、役務費、委託料、使用料及び賃借料													

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 本館玄関庇改修工事、事務所ブラインド設置工事	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) FAX購入
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 野々島公民館維持管理事業にかかる経費 円 ⇒ イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 野々島公民館利用者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 敷地面積 m ² ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設を快適に利用できる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 施設維持管理上の不具合・トラブル件数 件 ⇒ イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 活動する場がある	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 学習に親しむ設備が整っていると認める市民の割合 % ⇒ イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	4,487	4,804	4,009	3,539	4,260	4,260	4,260	
	(A) 事業費計	千円	4,487	4,804	4,009	3,539	4,260	4,260	4,260	
	うち指定経費	千円		2,801	2,915	2,841	3,656	3,656	3,656	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	千円	199	915	915	915	915	915	915	
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,686	5,719	4,924	4,454	5,175	5,175	5,175		
活動指標	ア イ	円	4,686,000	5,719,000	4,924,000	4,454,000	5,175,000	5,175,000	5,175,000	目 標 合 計 数 計 画 22 年 度
対象指標	ア イ	m ²	890	890	890	890	890	890	890	
成果指標	ア イ	件	7	3	2	2	2	2	2	
上位成果指標	ア イ	%	74	74	74	74	74	75		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
昭和49年に施設が開館し、野々島地域の生涯学習施設の拠点となり、施設の維持管理が必要となった。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
従来の中央公民館的役割が、野々島地区におけるコミュニティ施設へと位置づけが変わってきた。
野々島地区は他市町村からの転入者も少なく、高齢化率が高い地域となっており、生涯学習講座参加の市民も次第に減少しつつある地域となってきた。この施設も経年変化で老朽化し、外装のクラックなどが目立ってきていて、この状態が更に進むとコンクリート中の鉄筋を腐食させるおそれがあるので、大規模な外装工事が必要である。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
施設が築後30年以上を経過し、老朽化しているため、各所の改修・修繕を要望する意見が利用者から寄せられている。また高齢化に対応するバリアフリー設備等への対応(本館・ホール玄関へのスロープ設置等)も必要であるとの声もある。

事務事業名	野々島公民館維持管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 施設設備の維持管理は、利用者(市民)に必要な最小限のサービスであり、快適な施設設備の提供は生涯学習振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 経年劣化により年々維持管理費用がかさむことになるが、地域住民の生涯学習の拠点として存続させるのであれば、現在のような必要最小限の維持管理は必要である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 施設の維持管理は、施設利用者の便宜向上を目指すものであるため、対象意図は適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 施設設備の利便性向上を図り、市民が利用しやすい施設であるためには、常に時代の要請にあった施設を考えていかなくてはならないが、それには多額の投資が必要である。現在は、厳しい財政事情で必要最小限の施設維持のみを行っているため、施設の近代化が追いつかず、利用者も伸び悩んでいると思われる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 経年劣化による施設改修を怠ると、利用者に不快感を与え、次第に施設自体の安全性を欠くことになり、市民に危険な施設を提供することになるため、市民が安心して施設を利用していただくためにも事業を続ける必要がある。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似施設は他にもあるが、施設を統合してしまうと、統合した各施設の利用者の施設利用時間帯が重なるので困難である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 物件費の内訳は、施設管理委託料や各公共料金、修繕費であり、光熱水費に関しては、利用者の協力により節約に努めている。必要最小限の計上をしているので、これ以上の削減は難しいと思われる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 正職員の関与を最小限に抑えるため、管理員(住み込み)を配置している。この管理員も最低の報酬なので、削減は難しい。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 施設利用の市民には、受益者負担の原則に従い、施設の維持管理の一端を担っていただくため、施設利用料及び冷暖房使用料の負担をいただいております。利用者による適正な施設の維持管理に貢献している。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、快適な施設を提供しているため適切である。 ②有効性については、施設の経年劣化により見直しの余地がある。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、受益者負担の原則に従い適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2)貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)